

3月14日(月)

久之浜・大久地区の防災拠点施設を供用開始

○お問い合わせ  
総務課総務係  
☎22-7401

## 地域防災交流センター 久之浜・大久ふれあい館



今月14日に供用開始する「久之浜・大久ふれあい館」

東日本大震災の津波により、甚大な被害を受けた久之浜地区において、支所が持つ災害時の防災拠点機能と、公民館が持つまちづくり活動拠点機能を、一体化・集約化するとともに、津波避難ビル機能を備えた防災拠点施設「地域防災交流センター久之浜・大久ふれあい館」が3月14日(月)に供用を開始します。

同施設は、津波による浸水に備え、1階の高さを5.5メートルとし、2階以上に津波災害時の避難スペースや非常用の発電設備、備蓄倉庫などを配置しています。1階には支所と公民館の窓口を配置し、2階以上には平常時に市民コミュニティ活動や地域交流の場となる研修室・調理室などのほか、防災まちづくり資料室を配置して、津波被害状況等の展示を行い、防災意識の向上を図ります。

4月1日(金)

子育て支援拠点機能と屋内運動施設機能を併せ持つ

○お問い合わせ  
こども支援課  
こども支援係  
☎22-7454

## こども元気センターを供用開始

- ▶所在地 植田町本町一丁目12
- ▶施設概要 教養室、相談室、授乳室、遊戯室(ネット遊具など)、屋内運動場など
- ▶開館時間 9時~21時(18時~21時は教養室と屋内運動場のみ使用可)
- ▶休館日 毎月最終日曜日、年末年始
- ▶使用料 ①9時~17時=無料 ②18時~21時=教養室は無料(中学・高校生などに開放)、屋内運動場は有料



▲4月1日に供用開始する「こども元気センター」

3月28日(月)から31日(木)までプレオープンします(9時~17時)



◀ネット遊具(1階)



川前駅を出発する蒸気機関車〔昭和41(1966)年10月、堀越庸夫氏撮影〕



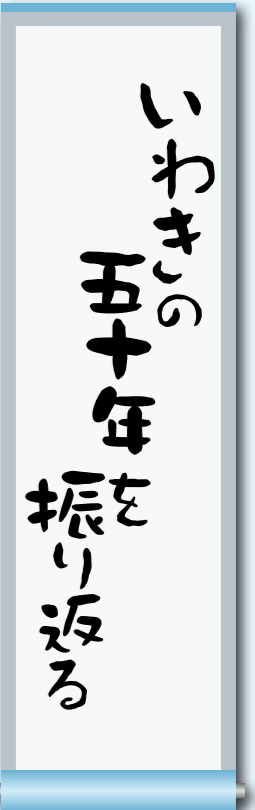
川前駅を出発する気動車〔平成26(2014)年11月、いわき市撮影〕

### 川前駅

川前駅は大正六(一九一七)年十月の磐越東線開通と同時に開設されました。小川郷駅を出た蒸気機関車は、阿武隈高地の急峻な上り勾配と夏井川が織りなす溪谷を、いくつものトン

ネルや橋で抜けるため、燃料の石炭はもちろん蒸気機関に必要な水の消費も多く、関に必要な水の消費も多く、人間でなくても川前駅で一息つきたいところ。このため、川前駅には円筒形の大きな給水タンクが設置されました。

前地区の民有林は商品価値を高め、駅は材木の積み出しで昭和時代初期までにぎわいました。しかし、自動車の普及や道路の整備によって、鉄道輸送は昭和四十年代から減少の一途をたどり、川前駅の貨物取り扱い、昭和四



いわき市は本年十月に、市制施行五十周年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

十七(一九七二)年九月に廃止。平成元(一九八九)年三月には、無人化されました。「ゆうゆうあぶくまライオン」の愛称で呼ばれる磐越東線。"時間短縮"を指す人には縁遠い存在かもしれませんが、渓谷美や山間の何げない風景が一幅の絵となつて過ぎていく眺めは、"時間効率"の意識を取り払うことのできる人にとっては、この上ないぜいたくかもしれません。

(いわき地域学会 小宅幸一)

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただければ、ふるさと発信課(☎22・7503)までご連絡ください。

### 2月16日(火)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久之浜・大久
地上1m	0.094	0.036	0.042	0.055	0.044	0.053	0.050	0.055	0.051	0.062	0.064	0.064	0.121
市民サービスセンター	中央台	豊間	泉	測定時刻: 10時 単位: マイクロシーベルト/時 出典: 原子力規制委員会ホームページより									
地上1m	0.064	0.096	0.050	モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。 ※久之浜・大久支所は、改築工事のため、当面、久之浜西公園での測定値を掲載します。									

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04~0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。(福島県ホームページより)

水道水の放射性物質の測定結果 水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回(法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回)検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出(1ベクレル/kg未満)であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口(県設置窓口) ☎0120-988-359 平日: 8時30分~18時15分 土日祝: 8時30分~正午

〈図2〉主な記念事業

<b>絆・交流</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉄道イベント開催事業（4月～来年1月）</li> <li>・市民プレゼン大会（7月）</li> <li>・おどれ！いわきのtraditional cultureと共に！（8月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中核市サミット2016inいわき（10月）</li> <li>・第8回いわきサンシャインマラソン（来年2月）</li> </ul>
<b>まち力向上</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いわきサンシャイン博（通年）</li> <li>・小名浜「胃・飾・縦」プロジェクト（通年）</li> <li>・市制施行50周年連携（名称使用）事業（通年）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（第63回）いわき花火大会（8月）</li> <li>・いわき市産業復興祭（10月）</li> <li>・いわきを繋ぐプロジェクトマッピング（10～12月）</li> </ul>
<b>郷土愛</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい誇れるいわき醸成事業（通年）</li> <li>・磐城平城復元「一夜城」プロジェクト（4～10月）</li> <li>・50周年記念誌の編集・発行（10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50周年映像記録の制作・配信（10月）</li> <li>・原動機付自転車に係るオリジナルナンバープレート作成交付事業（10月交付開始）</li> </ul>
<b>未来・夢・希望</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・議会へ参加してみよう～着て・見て・市議会～（4～12月）</li> <li>・U-15ベースボールワールドカップ2016inいわき（7～8月）</li> <li>・みらいを描くわかもの創生会議（8月）</li> </ul>	
<b>魅力発信</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・映画「超高速！参勤交代 リターンズ」の応援（通年）</li> <li>・市制施行50周年広報PR事業（通年）</li> <li>・いわき駅の発車メロディご当地化（10月）</li> </ul>	

※事業名が青書きされているものは、昨年5月に実施した市民プレゼン大会の提案事業です。

**4月10日(日) 開 催 いわきサンシャイン博オープニングイベント**

観光振興課企画係 ☎22-7477

いわきサンシャイン博オープニングイベントを4月10日(日)、21世紀の森公園で開催します。

いわきサンシャイン博は、市制施行50周年を記念し「地域で『観る』『学ぶ』『交流する』ことによって『人』がかがやくいわきサンシャイン博」をキャッチコピーとして、市全域を博覧会会場に、各種観光施設や地域のイベントなどを組み合わせて魅力的なプログラムを構築し、年間を通して、いわきの魅力を市内外の皆さんに発信するものです。

オープニングイベントでは、市内13地域の魅力を発信する物産展や市内の郷土芸能、フラステージのほか、年間を通して楽しめるイベント、プログラムなどを紹介しますので、皆さんでぜひご来場ください。



**記念式典と記念事業を実施**

市制施行50周年記念事業は、記念式典と記念事業により構成します。

▼記念式典 10月1日(土)

▼記念事業 4月1日～来年3月31日

記念事業は、五十の事業で構築し「絆・交流」「まち力向上」「郷土愛」「未来・夢・希望」「魅力発信」の五つのキーワードの、最も関連性の高いテーマに分類し、本市に関わるさまざまな主体との協働により、年間を通して事業展開していきます(図1)。

※主な記念事業は次ページ〈図2〉をご覧ください。

〈図1〉事業の構成

**50thプロジェクト ～地域がそれぞれの輝きを放つ成熟した都市へ～**

記念式典 10月1日(土)

記念事業 4月1日～来年3月31日

**事業テーマ**

**絆・交流**：市民をはじめ様々な主体が連携し、交流を深め、人と人との絆を強める

**まち力向上**：地域の特色・歴史や文化を生かしながら、まちのちからをさらに高める

**郷土愛**：郷土・故郷への誇りと愛着心を高め、その思いを未来へ引き継ぐ

**未来・夢・希望**：次世代を担う子どもたちの夢や希望を育む

**魅力発信**：本市の魅力や明るく元気な姿を国内外に向けて発信・アピールする



# 市制施行50周年記念事業を実施

本市は、十月一日に市制施行五十周年を迎えます。この大きな節目を市民の皆さんとともに祝い、さらなる飛躍・発展に向けた躍動する契機とするため、市制施行五十周年記念事業を実施します。記念事業は、記念式典と五十の事業により構成し、市民の皆さんをはじめ、地域や企業、各種団体の皆さんなど、さまざまな主体との協働により、年間を通して事業展開していきます。

〇お問い合わせ  
総務課総務係  
☎22・7401